

改良型 柱上変圧器ハンガバンド 概略仕様書

1. 適用範囲

この規格は、主として架空配電線路のコンクリート柱および複合柱に 6kV 単相柱上変圧器を設置するために使用する「改良型 柱上変圧器ハンガバンド」(以下、「バンド」という。)について適用する。

2. 種類

バンドの種類および構成は下表のとおりとする。

種類・名称	構成					
	バンド本体	ハンガ取付ボルト	Jボルト	耐震金具	接地線取付金具	CF取付金具
1台吊用	1	2	1	1	1	
増設キット (2台吊用)		2	1	1		1

3. 構造一般

バンドは、形状正しく丈夫で次の各号に適合すること。

- (1) 上部バンドと下部バンドがそれぞれ同等の強度を有すること。
- (2) 電柱に密着させると同時に固定バンドが閉じる構造であること。
- (3) バンドの適用範囲(取付部の直径)はφ190~280mmとする。
- (4) バンドには、「6kV 単相柱上変圧器(ハンガタイプ、容量 5kVA~100kVA)」を容易かつ確実に装着・固定できること。
- (5) 閉断面を形成する部分には適当な防塵具を取付けすること。
- (6) 表面が滑らかで、使用上有害な傷、錆、裂け、変形等がなく、長期の使用に耐え得るものであること。
- (7) 変圧器 1 台吊り、2 台吊りのいずれも可能であること。
- (8) 地震・積雪等の振動・荷重に対し十分な強度を有すること。
- (9) 下部ハンガ取付ボルトの締付けを緩めても、変圧器のハンガ座と下部ハンガ取付ボルトが離脱することなく、上部・下部共に一体化を継続する耐震金具を備えること。

4. 性能

バンドの性能は、下表に適合すること。

項目				性能		
バンド本体	荷重試験	コン柱	垂直方向	許容荷重	19kN (1,937kgf)	変位 3° 以内
				破壊荷重	38kN (3,874kgf)	破壊しないこと
		複合柱	垂直方向	許容荷重	8.3kN (846kgf)	変位 3° 以内
				破壊荷重	16.6kN (1,692kgf)	破壊しないこと
	複合柱	水平方向	許容荷重	0.59kN (60kgf)	変位 3° 以内	
			破壊荷重	1.18kN (120kgf)	破壊しないこと	
	振動試験				振動 16.7Hz、復振幅 5mm で左右方向に 60 分間振動させた時、各部に異常がないこと。	
	耐震金具	荷重試験	水平方向	許容荷重	1.08kN (110kgf)	変位 5mm 以内
				破壊荷重	2.16kN (220kgf)	破壊しないこと
		振動試験			振動 16.7Hz、復振幅 5mm で左右方向に 10 分間振動させた時、各部に異常がないこと。	
CF取付金具	荷重試験	垂直方向	許容荷重	0.2kN (20kgf)	変位 3° 以内	
			破壊荷重	0.4kN (40kgf)	破壊しないこと	
	操作荷重			ヒューズ筒操作時の荷重 147N (15kgf) を加え、荷重を取除いた時、元の状態に還元されること		
溶融亜鉛めっき試験				JIS H8641「溶融亜鉛めっき」に規定する 2 種 45 以上であること。ただし、ボルト・ナット・座金については 1 種 A 以上であること。		

5. 荷造

バンドは、輸送中容易に変形または損傷しないよう適当な荷造りを行うこと。

6. 表示

バンドの表示は、次の各号による。

- (1) 製造年
- (2) 製造者名またはその略号

以上